

# 学校だより

5月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

平成三十一年四月二十六日

## 白金小学校の子供たちに期待すること

校長 吉野 達雄

一学期が始まりひと月が経った今、学校は子供たちの元気な声や笑顔で溢れています。子供たちがより成長できるように次のことを期待するとともに、ご家庭での声かけをお願いいたします。

### 【気持ちのよいあいさつのできる子】

4月の前半に比べ、あいさつが劇的に上手になりました。少し言い過ぎなどところもありますが、気持ちのよいあいさつができる子供たちが増えたのは事実です。学校での取組もありますが、ご家庭での声かけの成果であると感じています。

これからのIT化が一層進む社会を人間が人間らしく生きていくには、人とのかわり、コミュニケーションが大切になってきます。あいさつは、豊かなコミュニケーションのはじめの一步です。今後も学校と家庭が連携した取組により、気持ちのよいあいさつのできる子供たちが増えることを期待します。

### 【友達をたくさんつくることのできる子】

学校は集団で生活する場合なので、良好な人間関係を築くことは大変重要であります。このことは子供たちが社会に出てからも生涯にわたって必要なことだと思います。良好な人間関係のスタートとして、子供たちには友達をたくさんつくってほしいと思います、次のことを話しました。

「友達をつくるコツとしては、その人をたくさん好きになることである。」

「人は誰でもよいところとそうでないところ、両方をもっている。人を好きになるには、その人のよいところをたくさん見るようにすることが大切である。」

人のよくないところを非難するのではなく、よいところを認めてあげられる子供たちになってほしいです。

## 平成三十一年度 運動会

運動会委員長 小野澤 翔太

清々しい五月晴れが快い季節となり、運動会に向けた練習がいよいよ始まります。

入学したばかりの一年生にとっては、初めての大きな学校行事となります。各学年の練習に加え、全校児童が一緒に行う全体練習もあります。暑さ対策に加え、組体操などにおいても、子供たち一人一人の安全を確保できるよう指導していきます。また、五・六年生は、競技だけではなく係児童としても運動会を支えます。一人一人が目標に向かい、自分の力を発揮して、大きく成長できる運動会を目指してまいります。

さて、白金小学校の運動会は、次のことを目的として行っています。

- ① 体育的な集団活動を通して、心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する。
- ② 児童が運動に親しみ、その楽しさを味わうことによって、体力・気力の充実を図る。
- ③ 集団の規律ある行動に目を向け、集団への所属感を深める。
- ④ 学校生活に変化を与え、明るく潤いあるものにするとともに、家庭との連携を密にして学校教育に対する関心を深める機会とする。

これらの目的を達成できるよう指導してまいります。また、五月十三日(月)から運動会特別時間割が始まります。普段の時間割とは異なりますので、学年日より等でご確認ください。暑い中での運動会練習が続きますので、ご家庭でのお子さんの健康管理も引き続きお願いいたします。

今年度も多くの保護者の皆様にご参観いただき熱い声援を送っていただければと思います。よろしくお願いたします。

## 特別活動について

特別活動部 坂 愛

「特別活動」の目標は、学習指導要領に「望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」とあります。内容は、大きく四つに分けられます。

- ① 学級活動
- ② 児童会活動
- ③ クラブ活動
- ④ 学校行事

の四つです。①と④は全年、②は主に五・六年生の四・五・六年生に関わります。各学期の始・終業式、運動会や展覧会以外の今年度の主な大きな行事・活動として、七月十八日(木)校内オリエンテーション、二月二十五日(火)六年生を送る会・お別れ給食があります。また、年間十回のプラチナタイム(縦割り班活動)も予定しています。一年生から六年生まで三十六班に分かれ、同じ学年の友達との関わりだけでなく、異年齢集団で協力しながら活動を楽しみ、交流を深めることを通して、自主性と実践的な態度の育成を図ることを目的としています。人との関わりをより深められ活動になるよう進めていきます。ご家庭でも話題にさせていただくと励みになると思います。